

12 若者の投票率UP!プロジェクト

「同年代」だからできること

若者の投票率up!プロジェクトは、若い世代の投票率を上げるための活動を行っています。1人1人が問題と向き合い、どうすれば興味をもってもらえるか、どんなアプローチが効果的なのかを考え、一緒に話し合っています。メンバーと話す中で、自分の意見を聞いてもらったり、他人の意見を聞くことで視野が広がるができます。新しい発見をしたりすることができます。

メンバー数：4名
活動場所：伊勢市
実施主体：伊勢市選挙管理委員会
担当教員：富永 健（現代日本社会学部）
活動年度：R02,R03,R04,R05



1年の活動まとめ・考察（成果と課題）

今年は参加メンバーが4年生になって、それぞれ個人的に忙しかったこともあり、あまり積極的な活動が行えませんでした。昨年度から目標にしていた常態的な啓発活動について話し合いを行ったこともありましたが、予定を合わせることも難しく、断念したりもしました。また、活動についてアイデアが出て、技術を伴ったり、内容が難しく実現が困難そうな点から却下になったりと、活動自体はやろうとしてもうまく進められなかったこともあり。来年度は、まずは定期的な打ち合わせの時間を作ろうと考えています。メンバー内のコミュニケーションをしっかりと取り、よりよいアイデアを考えられるような場所にしたいです。そして、考えるだけでなく少しずつ実行に移していき、投票率向上に向けて、メンバー全員で協力しながら活動を行っていきたく考えています。また、選挙が行われそうな時期はありましたが、結局実施はされなかったため、街頭啓発活動や、高校生への主権者教育が今年度の主な活動となります。高校生への主権者教育については、まだ準備段階ですが、今までやったことのない活動のため、しっかり進めていきたいと思っています。これから選挙権を持つ世代に、少し先輩という立場から伝えることで、少しでも興味を持つきっかけになれば嬉しいです。また、全国の投票率向上に向けた活動を行っている団体と連携する、若者選挙ネットワークでもこれからの活動のお話があり、これからは様々なことに挑戦していきたいと考えています。

月別活動

- 10月 打ち合わせ
- 12月 街頭啓発
- 2月 主権者教育

活動を通して学んだこと

それぞれにやることがあるため、打ち合わせを呼びかけたりするのを躊躇ってしまいがちでしたが、呼びかければみんな時間を作って参加しようとしてくれたので、あまり不安になりすぎず、頼ったり頼ってもらったりしていけば良かったと感じました。

実施主体からのコメント

伊勢市選挙管理委員会
ご担当者様

卒業年ということで、ご多忙の中にもかかわらず、学生の皆さんには、三重県議会選挙や選挙強調月間における街頭啓発や広報紙面作成の協力などに携わっていただいたほか、新しい試みとして高校での主権者教育にも携わっていただきました。選挙の種類やその時の政策の争点などで投票率は変わるため、皆さんの活動が若者の投票率のUPに具体的な数字としてどれぐらいの効果があったかを検証するのは難しいですが、若者目線の啓発を行っていただいたことにより、高校生を含めた若者への選挙啓発の一助となったと考えております。今後、社会人になってから、これまでのCLL活動での経験がきっと役に立つことがあると思いますので、これからも、身体に気をつけて、頑張ってください。



担当教員より

現代日本社会学部 富永 健

令和5年は、4月に県議会議員選挙が施行されました。この選挙に関して県選挙管理委員会からの要請で、本プロジェクトから、テレビの選挙広報CM作成並びに選挙啓発ポスターの作成に参加しました。CMは出来も良く若者らしさが現れている内容です。ポスターに使用された写真は、各戸に配付される選挙公報にも使用されました。また12月には、伊勢市選挙管理委員会の要請により、伊勢市内のショッピングセンターでの選挙啓発活動に参加しました。これらの活動によって、選挙・投票の大切さを周知することに貢献できたと思います。



成果物 / 制作物

📣 こんな人におすすめ！

- 地域社会と関わってみたい人
- 地域に貢献したいと考えている人
- 何かを伝える方法に興味がある人
- アイデアを考えることが好きな人